

卒業生に聞く!
母校への思い

常翔学園

毎日の課題の積み重ねと
『常翔キャリアアップチャレンジ』で
身につけたスキルが
大阪大学合格につながりました

学習習慣の確立と 社会で役立つスキルが 身についた

常翔学園を選んだきっかけを教えてください。

自宅から近く通学しやすいこと、かつ中学校が新設されたばかりだったので、新しい学校で学ぶのも楽しそうだなと思い、受験しました。

入学後の印象は?

学習面では、小学校の頃と比べて課題が多いという印象で、毎日、国数英の宿題がありました。でも、クラスメートは真面目に取り組んでいるので、僕も使命感に駆られて頑張りました。毎朝小テストが行われるので、宿題はテスト勉強と考えて取り組みました。日々の課題があるおかげで家庭学習の習慣が身につきました。

自然と成績も上がりました。中学校入学時のクラスはⅡ類でしたが、気がつけばⅠ類と張り合えるレベルになっていて、先生からも「中2でⅠ類に入れるように頑張ってみたら」と応援してもらい、より意欲的に学習に取り組むようになりしました。実際に中2からはⅠ類のクラスに入ることができました。

常翔学園では、グローバル社会に必要な21世紀型スキルを身につけるプログラム『常翔キャリアアップチャレンジ』を取り入れています。印象に残る取り組みがありますか。

中2から始まる『探究プログラム』の「課題発見解決プロジェクト」では、身近な課題から商品・サービスを企画し、発表しました。グループでブレインストーミングを行

い、皆で考え、課題を発見します。また、プレゼンテーションに向けて、パソコンを使って資料作成をするなど、普段の授業にはない、将来、社会で役立つ力を身につけることができました。

ほかには、新聞のコラムを教材に自分の将来を考える『私の履歴書』です。ここでもパソコンスキルが向上しましたし、何より自らの「将来、生き方」を考えるきっかけになりました。こうした学びやきっかけを中学校で得たことは大きかったと思います。

学習面以外での思い出を教えてください。

たくさんありますが、特に高校生と一緒に行う体育祭は楽しかったです。普段は高校生と接する機会はないので、新鮮でした。高校生の体格や

競技、ふるまいを
見て「大人だなあ!」と感じていました。

僕は小学校まで野球をしていたので、クラブはソフトボール部に入部しました。土日を含めて週4日くらい活動し、高2の引退まで続けました。試験前は練習を休ませてもらえるなど、先生が勉強と両立できる環境をつくってくれましたね。

学習面も人間的にも 成長を実感

高校生になると、学習に対する意識は変化しましたか。

中学校時代と変わらず、授業と多くの課題にしっかりと取

高校時代で印象に残っている授業やプログラムはありますか。

企業の課題に対して、グループで解決策を考えて発表する『企業探究学習』です。チーム結成から役割分担、発表の内容まで生徒主導で進めます。僕は人見知りだったので

が、あるときグループのリーダーを任せられました。最初はリーダーとしてどうすればいいのかわかりませんでした。メンバーと積極的にコミュニケーションを取り、幅広い意見を聞き、決断するように努力しました。この経験から、コミュニケーションやグループのまとめ役への抵抗がなくなり、決断力やリーダーシップが身についたと思います。現在は大学でもグループ学習やサークルでリーダーをしています。

志望校決定や受験対策はどのように進めたのでしょうか。

進学について考えたのは、高1の2学期頃からです。外部模試を受け、他校の人々との比較ができ、自分の立ち位置がわかるので意識が高まりました。僕は国立公立大学志望で、校内の定期テストでも国立大学のレベルをキープできているか意識しながら勉強しました。

中学校の『大学体験プログラム』で受講した大阪工業大学の水耕栽培の授業がきっかけで、最初は農学部に行きたいと考えていました。高2に

なると、身近で起こる現象は計算式で表せる。ということに感動し、理科の面白さを実感。物理が得意になり理学部志望に。その後は本をきっかけに「量子コンピュータ」に興味を持ちました。その頃、大阪大学で量子コンピュータの新しい研究機構が設立されることを知り、最終的に大阪大学基礎工学部を志望しました。一般入試を受験する予定でしたが、新しい入試方式として、センター試験の成績と面接、口頭試問で合否判定が行われる『総合型選抜入試』(AO・推薦入試)のを知り、挑戦しようと思いました。対策は、センター試験の勉強と、面接で想定される質問への回答ですが、それでも合格できたのは、常翔学園での経験があったからだと感じます。面接では、課題発見力・解決力や自主的・能動的に学ぶ姿勢を判定されますが、これは『探究プログラム』や『企業探究学習』で身につけていたし、人前で話すことについては、『ディベートフロンティア』などで鍛えられたコミュニケーション力・発言力を発揮することができました。

最後に、常翔学園での6年間の感想と、今後の目標を教えてください。

この学校で多くの貴重な経験ができました。学力も上がりましたが、私自身も変わり、人間的に成長することができたと思います。現在は大学1年生のため、まだ専門分野については学んでいませんが、大学生活全般をすべて楽しんでいきます。来年以降は専門分野(量子コンピュータ)の勉強に取り組みるのが楽しみです。将来は研究職の道に進みたいと考えています。



▲「校外学習」「文化祭」「スキー実習」など、1カ月に1回は行事が行われる常翔学園。6月に行われる「運動会」の会場は、なんと京セラドーム大阪。中高合同で楽しむ名物行事となっている。

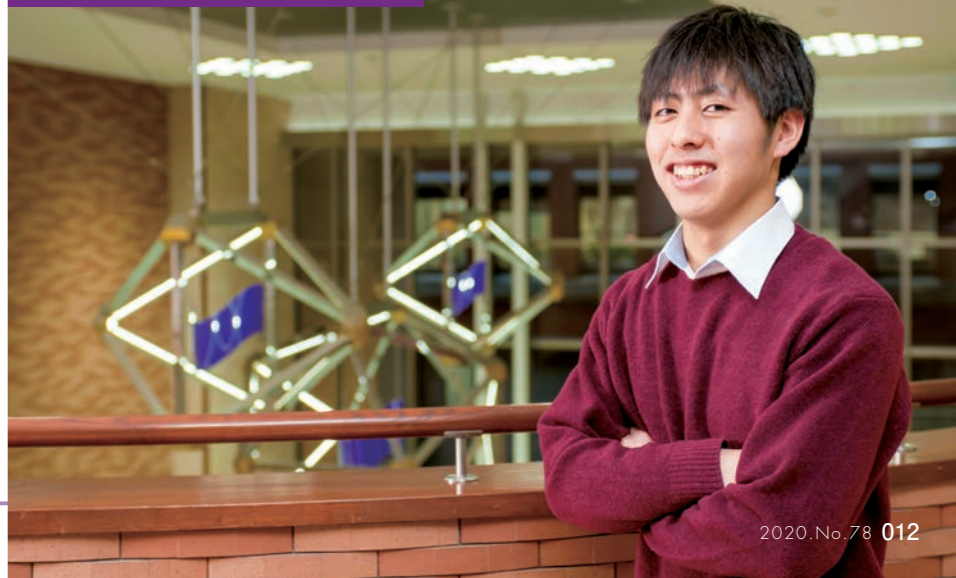


▲高校で取り組む『企業探究学習』は『常翔キャリアアップチャレンジ』の一環。実際の企業から課題をいただき、グループで解決策を考え、提案する課題解決型のプログラム。▶中学で取り組む『常翔キャリアアップチャレンジ』の一つが、『大学体験プログラム』。同一法人内大学(大阪工業大学・摂南大学・広島国際大学)の研究室を訪問したり、大学の先生が来校して講義を受けたり。薬学部、理工学部、看護学部などさまざまな学部の授業や研究を体験することができる。



▲4人チームでテーマに対する意見・主張を発表する『ディベートフロンティア』。大勢の人々に話す経験は、プレゼンテーションや、大学受験の面接の際に役立ったという。

服部 天哉さん
大阪大学・基礎工学部電子物理科学科1年生



大学の学びに触れ 広い視野とキャリアビジョンを養う 中大連携の『大学体験プログラム』

常翔学園中学校では、同法人内に3つの大学を持つスケールメリットを活かして、生徒たちが幅広い大学の学びを体験する『大学体験プログラム』を実施。このプログラムについて、「貫コース長(中学)・持田政治先生と中3生にお話をうかがいました。」



Yさん Kくん Iくん 持田政治先生

『大学体験プログラム』 について教えてください

持田先生 ●本校では、総合学習の時間を使って、職業観を育み、自ら課題を発見・解決するスキルを身につけるためのキャリア教育『常翔キャリアアップチャレンジ』に力を入れています。その中で実施される『大学体験プログラム』は、中1・中2で取り組むプログラムで、本物に触れるをテーマに、同法人の大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学の学部・学科の研究内容を体験する中大連携授業で、生徒も楽しみにしている取り組みです。これにより進路を意識し、将来を考え始める生徒も多数いますね。

印象に残っている授業は？

Kくん ●摂南大学・理工学部建築学科の授業です。限られた本

常翔学園

数のストローとテープを使って強い構造物を作るという内容でした。友人と強度を競うのがおもしろかったですし、同じ素材でも組み方で強さが違ってくることを学びました。

Yさん ●私は摂南大学・薬学部薬学科の授業で、調剤を体験したことです。いろいろな種類の薬があることを学びましたし、実際に調剤作業で使われている機器を使って薬の包装を経験することもできました。

Kくん ●Yさんと内容は異なりますが、僕も薬学部の授業が印象に残っています。砂糖に重曹を混ぜて温度管理しながらつくるカルメラ焼き体験が楽しかったです！

Iくん ●同じ摂南大学でも僕は看護学部看護学科の授業かな。聴診器で友人の心音を聞いたり、赤ちゃんの抱き方を実践的に学んだり、初めての体験ばかりで、

とても貴重な経験ができたと思います。
Kくん ●広島国際大学・看護学部の消毒体験も印象深いものでした。手を洗った後に特殊な薬剤を塗り、紫外線ライトに当ててみると、想像以上に多くの雑菌が残っていて、ショックだったなあ！(笑)

Iくん ●大阪工業大学・工学部電気電子システム工学科のコイルモーターを作る授業もおもしろかった。電線を紙やすりで削って巻き、電池で電流を通すと磁力の働きが生まれて、コイルモーターが回転することに驚きました。

大学のキャンパスや 大学の先生の印象は？

Iくん ●大学の研究室って暗くて冷たいイメージを持っていたのですが(笑)、大阪工業大学の研究室は想像以上に明るくて、きれいでした。

Yさん ●私は、摂南大学のキャンパス。中学とは違ってとても広く、実験室には見たことのない精密機器がたくさんありました。思う存分に、自分のやりたい実験や勉強ができる環境だと実感しました。

Kくん ●広島国際大学は、先生方が中学に来て、授業をしてくれま

す。大学の先生は威厳があつて話しかけにくいのかなと思っていましたが、実際はとてもやさしくて、授業もわかりやすかったです。いろいろな体験ができたのですね。

自分なりに、 勉強になったと 感じることは？

Iくん ●思った以上に看護師という仕事を目指すにはたくさんあることを覚えて幅広いスキルを身につけなければいけないことを知りました。

Yさん ●大学体験では、薬剤師の業務や、患者さんに対する思いを教えていただくことができました。私も薬剤師を目指しているのですが、薬剤師の仕事内容が具体的にイメージできるよ

うになりました。
Kくん ●消毒体験では、正しい手洗いの方法も学びました。ま

た、洗い残しをしやすい箇所がよくわかったので、今ではできるだけ、入念に洗うようにしています(笑)。
**『大学体験プログラム』を通じて、
将来や進路を意識する
ようになりましたか？**

Yさん ●私は新しい薬を開発して難病の人を助けたいと思うようになりました。国公立大学志望なので、大阪大学の薬学部が一番の目標です。理科が苦手なので、これから頑張つて勉強しないと！でも大学での学びを体験して、勉強へのモチベーションが高まりました。

Iくん ●専門的な内容に触れることができるので貴重な経験ができたと感じます。僕はやはり、看護体験が印象に残っているのですが、将来、看護師の国家資格を取りたいと真剣に考えるようになりました。

Kくん ●まだ将来の目標や夢は決まっていますが、このプログラムでいろいろな体験や勉強ができて、よかったです。僕は理系なので、まずは分野の科学探究授業を行っている高校の『ガリレオ・プラン』で早く学びたいという思いが強くなりました。

持田先生 ●大学の先生方にも工夫していただいているので、プログラムの内容は充実しています。『大学体験プログラム』では、幅広い分野に触れて、まず生徒たちの経験値を高めていくことを目的としています。そのなかから、生徒自身が、自分なりの目標や興味のある分野を見つけてほしいと願っています。今後、やりたいことが見つければ、全力でサポートしていきます。

大阪工業大学では、中学と隣接している工学部と情報科学部のほか、ロボティクス&デザイン工学部の授業も開講。初めて大学の雰囲気や施設・設備に触れ、そのスケールの違いに圧倒される生徒も多い。

摂南大学・薬学部のプログラムでは、薬剤師体験やタンパク質の分析、実験を通じたカルメラ焼きなど多彩な授業を展開している。



広島国際大学・看護学部での「消毒体験」。今後は医療栄養学部医療栄養学科による、管理栄養士の仕事を学ぶ授業が用意されている。

〈2018年度 大学体験プログラム一覧〉

大学	対象	学部学科	プログラム内容
大阪工業大学	中1	知的財産学部知的財産学科	知的財産の必要性を具体例から学ぶ
	中1	情報科学部情報システム学科	惑星モデルをプログラミングで動かす
	中2	工学部機械工学科	研究室体験
	中2	工学部電気電子システム工学科	コイルモーター作成
摂南大学	中1	理工学部建築学科	ストローで丈夫な建物を作る
	中2	薬学部薬学科	研究室体験
	中2	スポーツ振興センター	ストレッチによる気持ちの変化を体験する
広島国際大学	中1	経済学部経済学科	booming(ソフト)による街づくり体験
	中1	医療栄養学部医療栄養学科	管理栄養士の仕事を学ぶ
	中2	看護学部看護学科	消毒体験